



広島県教育委員会における呉市内の県立高校の 統合，再編方針の見直しに関する要望書の提出について

県立高校の再編改革に関する呉市の要望をあらためて伝えるため，別添のとおり要望書を提出しました。

【要望書提出先】

- ・ 広島県知事
- ・ 広島県議会議長
- ・ 広島県教育委員会教育長

【要望の内容（前回の要望との変更点）】

別添のとおり。なお，「呉市として将来に渡って市内に多様な進学先があることは重要であると考えており，県立高校の学級数に歯止めをかけるべく入学者確保に取り組む。」旨の表現を追記

様

要 望 書

広島県教育委員会における
呉市内の県立高校の統合，再編方針の見直しについて

令和8年2月

呉 市

令和8年2月 日

様

広島県教育委員会における
呉市内の県立高校の統合、再編方針の見直しについて

令和7年12月18日に広島県教育委員会において2033年度までに県立高校のうち22校を統合して9校に再編する方針を検討されている旨の報道があり、本市にある呉三津田と呉宮原、呉工業と呉商業をそれぞれ再編する旨の記述がありました。

そのため、令和8年1月16日に広島県知事、広島県議会議長及び広島県教育委員会教育長に対して、呉市内における高校の統合・再編の考え方について方針を見直していただくよう要望書を提出させていただいたところです。

再編の対象とされている4校には、長い歴史と伝統があり、市内はもちろん全国の各界で活躍されている人材を輩出しており、本市にとってかけがえのない高校です。

各高校には生徒、保護者、同窓生など多くの関係者がおられます。各高校の同窓会や保護者有志のほか地域にある大学から、本市に対して要望書を提出されており、大学への進学のコートとなっていることや地元企業が求める人材を輩出するための専門教育を行っていることといった強い存在意義を訴えられており、いずれも高校の存続を強く求めておられます。

また、各高校がある地域においても、地域住民の学校行事への参加や高校生による地域活動への参画が密に行われており、地域の活気がなく

なることが懸念されています。

本市においては、昨年４月に呉市人口戦略対策本部を設置し、出生数の改善、魅力的なまちづくりなど、人口減少をできるだけ緩やかなものになるよう全庁あげて取り組んでおります。こうした検討と並行して、半導体製造装置の企業の工場増設やＩＴ企業の立地が進むほか、日鉄跡地への防衛省による多機能な複合防衛拠点の早期整備の要望を行うなど、将来に向けた新たな雇用の創出にも取り組んでおります。

まちづくりの観点からも子育て世代が住む場所を選ぶ上で、多様な進学先があることは重要なことであると考えており、地元中学生の進学先の選択肢が減ることは、子育て世代の他地域への転出のきっかけになることが懸念されます。

その一方で、本市の市立中学校生徒の卒業後の進路を見ると、市内県立高校への進学者は中学校卒業者の約半数に止まっており、市外の公立や私立の高校を選ぶ生徒がいます。

本市といたしましては、人口減少対策に覚悟を持って取り組んでいるところであり、将来に渡って市内に多様な進学先があることは重要なことであると考えているため、県立高校の学級数の減少に歯止めをかけるべく、入学者確保に取り組んでまいりますので、広島県及び広島県教育委員会におかれましては、呉市内における高校の統合・再編の考え方について方針を見直していただきますようお願いいたします。

呉市長 新原 芳明

呉市議会議長 中田 光政